

達成感



●特集 ②-④
なりたかった自分になるのに、
遅すぎることはない
放送大学「高島教室」開設

7月1日「2007ちびっこチャレンジ高島」で
今津で行われていた「ちびっこチャレンジ」が、合併
によって、高島で行われていた「びわこトライアスロン」
と同時に開催されるようになりました。今年から「びわ
こトライアスロン」が、滋賀県民体育大会トライアスロ
ン競技に位置づけられるなど、ボランティアの皆さんに
支えられ、ますます盛り上がっています。
【写真：高学年の部で優勝した内田有貴君（関連記事P12）】

- 5—9 タウントピックス
- 10 みんなで5・7・5
- 11 市長日記・省エネ長者作戦
- 12・13 まちネタ写真館
- 14 健康生活していますか？
- 15 びょういんだより
- 16 教育委員会 information
- 17 国保年金あらかると
- 18—21 情報おしらせ版
- 22 そうだ図書館に行こう！
- 23 窓口・納税
- 24 歴史散歩

歴史散歩
No.32

『四海太平記』シリーズ②
朽木城の軍勢強し！

今回は前月号で紹介しました『四海太平記』から、巻第十四下の「晴元、兵を率いて朽木を攻める」の前半をご紹介します。

享禄元年（1528年）12代将軍足利義晴は、堺公方足利義維を支持する細川晴元や三好一族の軍勢が京の都に迫ったため、佐々木六角定頼を頼って近江の坂本（大津市）へ逃れ、さらに朽木種綱のもとへ避難してきました。義晴を支持する細川高国や他の武将たちの軍勢に挟み打ちになりそうな状況を察した細川晴元は、兵4万余騎を集めて朽木の城へ攻めてきました。

「晴元、兵を率いて朽木を攻める」付：大杉落城の事

（前略）ところで、この朽木城といふのは、北に山が険しくそびえ立ち、万木千草が生い茂り、左右に二つの川が合流して城の東西をはさみ、そこへ通じる道は奇岩怪石の間を羊の腸のごとくに曲がりくねっており、



南側だけが平地で城下の田野が開けています。このような地形ですから、たとえ数万騎の軍勢で攻撃したとしても簡単には落とせる城には見えません。

しかし、4万の大軍である晴元や三好の軍勢は城の構えを甘くみて、

一気に攻め落とせと、三方の坂口より呼びながら押し寄せてきました。城の兵たちは物音を立てずに待ちかまえていて、予定どおり敵の先兵が切岸（人工のかけ）に近づいた時、合図の太鼓を打ち鳴らすやいなや、屈強の兵数千人が手ごろな石を次々と投げ落してきたので、敵兵3百人余りが死亡しました。そこへ城からは800余騎が3つの木戸より打って出て、四方八方に切つてまわったので、敵兵は一戦も交えずに散散に崩されて、市場・岩神（岩瀬）あたりまで、雪崩のごとく引き退きました。その日の合戦で、城兵の討死はわずかに20騎だけでしたが、敵方の石に打たれたり矢に当たって命を落す者は8百人余りと記録されました。少数の兵に負けてしまった大軍の方は、勇気をなくしてしまつたように見えました。（中略）

9月号に続く。
（朽木村史編さん室）



「ゴオー」という音が、暑さをも忘れさせてくれます。
（「八ツ淵の滝」で）

編集後記